



親子自然ウォッチング 2015

わんぱく遊び隊通信

No.155 2016年2月29日 発行

かまくらづくりと雪あそび!

豊平川さけ科学館前(南区)

2016年1月30日(土曜日) 天気 はれ

寒い日でしたが晴れて雪遊び日和♪みんなで力を合わせて5基のかまくらを作りました。そりすべりや雪合戦も楽しみましたよ!

ウォーミングアップ



何でもバスケットで体を動かそう

かまくらの作りの説明



かまくらの作りスタート



お山作り頑張るね♪



お山を固めてるんだよ



ちょっと休憩中♪



穴を掘ります



かまくらを飾るものをさがしてきたよ!

かまくら完成



門構えステキでしょ?

雪合戦



男子VS女子でどっちが早くスコップを倒せるかを競ったよ!



つららを堪能中♪

スタンプラリー



かまくらをめぐりながら、スタッフとじゃんけん!勝ったらスタンプもらえます。



スタンプを全部集めてポストカードをゲット



お屋ごはんも、かまくらで食べて満喫中♪



そり遊び



すべり終わって休憩中



かまくら壊し

最後に危なくないように、かまくらを壊します。さみしいけどね



「かまくら」とは 「かまくら」は、秋田県、新潟県など東北地方の豪雪地帯に伝わる小正月(1月15日~20日)の伝統行事。雪で作った雪洞の中に祭壇を作り水神様(すいじんさま)をまつり、農耕につながる火や水に感謝する行事のこと。鎌倉時代に豊作を祈る火祭として始まり、江戸時代には今のような形になった。忘れず「話っこ」はつきない。

明治時代からさらに子供の行事となったという。特に、秋田県内の横手市のかまくらは、420~450年の歴史がある。横手の「かまくら」まつり期間中は、子供たちが雪洞の中に祭壇を作り水神をまつり、甘酒やおもちやお菓子などを食べながら、夜がふけるのも「忘れて」話っこはつきない。

コラム ゆう

発行・お問合せ 自然ウォッチングセンター

〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目4-16 Tel: 011-583-5208 Fax: 011-583-5233
E-mail: wanpakuasobitai@tea.ocn.ne.jp URL: http://homepage2.nifty.com/watching/

編集 美圭

後援: 札幌市教育委員会 / この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)の助成金交付を受けて行うものです。